

藍場浜公園西エリアにおける新ホール整備について

1 建設業界を取り巻く状況

- ・ 建築費指数は、上昇割合が緩やかになりつつあるが、依然として上昇傾向
- ・ 大手、中堅工事業者の手持ち工事の多い状況が継続
- ・ 設計者と施工者を同時に募集する整備方式では、入札不調・不落が相次ぎ、「設計業務のみ先行させる方式」に変更する事例が複数あり

2 2 回目の公募中止後における事業者等への聞き取り結果

○ 事業者への聞き取り〔2社〕

- ・ 現時点において、手を組む施工者を見つけることが難しい
- ・ 要求水準書で求めているものに対し、工事費が合っていないように感じる
- ・ 人材不足等により、特に設備系の金額は落ち着いていない状況
- ・ 施工者を同時に公募する方式は厳しく、この状況がいつまで続くか予測しづらい

○ 大型プロジェクトを実施する自治体への聞き取り〔2団体〕

- ・ 現時点で、施工者を早期に公募する方式は、入札不調・不落のリスクあり
- ・ 設計業務のみ先行した場合、実勢状況を反映した工事費の積算が可能
- ・ E C I 方式は、施工者の専門技術を設計に反映させることで、品質向上が期待でき、設計途中で E C I 方式に変更することも可能
- ・ 設計段階から施工技術者を拘束する方式は、施工者から敬遠されやすい
- ・ 令和 9 年度まで手持ち工事が一杯という事業者の声も聞いている

3 今後の新ホール整備の方向性

「設計業務のみ先行させる方式」を念頭に置きつつ、建設業界の現状や他県の公募状況等も踏まえ、公募の詳細について具体化